

伊豆の国市立韮山中学校

学校だより 9月

Vol.6

～明日に希望を持ち、今日を頑張る生徒（学校教育目標）～

平成29年9月27日(水)
文部 誠話 伊地知 昭典



青雲祭体育の部、ご声援ありがとうございました

9月16日(土)青雲祭体育の部を実施しました。途中から小雨が混じるコンディションの中でも、最後まで一生懸命競技に打ち込むひたむきな姿は、まさに“感動”そのものでした。以下、各種目の結果と競技の一部を紹介します。

縦割り	赤色	青色	黄色	緑色	桜色
	1-2	1-4	1-1	1-5	1-3
クラス	2-2,2-5 3-1	2-1 3-2	2-4 3-3	2-6 3-4	2-3 3-5



総合優勝は、“青組”

<縦割り種目>……優勝チーム

女子台風の日…赤組 男子台風の日…青組
ムカデリレー……青組 俵差し……………緑組
綱引き……………赤組 ベストリレー……青組
応援合戦……………最優秀賞:青組 優秀賞:桜組

<学級対抗種目>…優勝クラス

1年全級リレー……1-5
2年全級リレー……2-2
3年全級リレー……3-5
みんなでジャンプ……1-5
始めの一步……………2-1
本気の電車ごっこ……3-2



本校伝統の“俵差し”。3年生の力強さと、応援で支える韮中生の温かさが伝わってきました。

1年生『みんなでジャンプ』、2年生『始めの一步』
3年生の学年種目『本気の電車ごっこ』、
どの学年も皆の気持ちが1つになる素敵な瞬間でした。



最後の応援合戦！観客の心を打つ、熱いパフォーマンスでした。

10/6(金)青雲祭文化の部を開催します

10月6日(金)に青雲祭文化の部を韮山体育館2階で開催します。朝練、昼練、放課後練と、金賞獲得に向け、各クラスで限られた時間を大切に使いながら取り組んでいます。日程、各クラスの合唱曲等は右の通りです。

No.	演目*○で囲んだ数字は発表順です
1	開会式 9:30～
2	英語弁論 第1部 9:40～ ●2-2 駿藤明希子さん「A BIRTHDAY PRESENT」 ●1-1 石井由希子さん 1-2 長島鈴さん 1-4 大川二胡さん 1-4 藤池未来さん「A Magical Apple」
3	1年学年合唱 9:55～ FOREVER 1年合唱コンクール ①1-4 あさがお ②1-5 行き先 ③1-2COSMOS ④1-3 HEIWA の鐘 ⑤1-1 旅立ちの時
4	福祉作文発表 10:50～ ●2-1 武田倅奈さん「相手の気持ちに寄りそって」
5	2年学年合唱 11:05～ 風の星水の星 2年合唱コンクール①2-3 見えない翼②2-4 YELL③2-5 時の旅人 ④2-6 ヒカリ⑤2-1 友よ北の空へ⑥2-2 地球の鼓動
6	英語弁論 第2部 11:40～ ●3-3 鈴木爽巴さん「Small Help, Big Change」 ●3-4 後藤柚菜さん「Enjoy the Benefit of Giving」
7	吹奏楽演奏 12:55～ 曲名「宇宙戦艦ヤマト」他
8	3年学年合唱 13:25～ つぼみが開くように 3年合唱コンクール①3-4 証②3-1 聞こえる③3-2親知らず子知らず ④3-3 言葉にすれば ⑤3-5 花をかざす少女
9	PTAの合唱「たしかなこと」
10,11	合唱コンクール表彰 14:35～ 青雲祭閉会式 14:50～



平成29 全国学力学習状況調査の結果について


今年度4月18日に3年生を対象に行われた全国学力学習状況調査の結果が公表されました。紙面の都合ではすべての項目は載せられませんので、本校の表れとして顕著な部分を一部ですが、報告いたします。

○本校生徒の学力状況の分析と考察【全国・静岡県の中学校平均正答率の比較(%)】

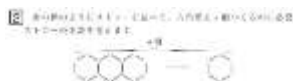

	国語A	国語B	数学A	数学B	県、全国
全国	77.4	72.2	64.6	48.1	と比較して ◎良くてきている ○できていない
静岡県	78.0	74.0	67.0	50.0	
本校	◎	◎	◎	○	

国語 A⇒主として知識を問う問題 B⇒主として活用を問う問題

	特に良かった設問内容	今後努力を要する設問内容
A	○書いた文章を読み返し、語句の使い方工夫して書くことが高い。 ○目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる能力が高い。	●話し言葉と書き言葉との違いを理解すること。 ●文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつこと。 ●相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと。これらの設問で話す・聞く能力の正答率が低い。

B	<p>○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。</p> <p>○場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。</p>	<p>●目的に応じて資料を効果的に活用して話す設問の正答率が低い。</p> 
----------	--	---

数学 A⇒主として知識を問う問題 B⇒主として活用を問う問題

	特に良かった設問内容	今後努力を要する設問内容
A	<p>○実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している。</p> <p>○円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している。</p>	<p>●見取り図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取るなど、資料の活用を考える設問の正答率が低い。</p>
B	<p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。</p> 	<p>●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</p> <p>●与えられた情報から、必要な情報を選択し、事象に即して解釈すること。</p> <p>これらに関する設問の正答率が低い。</p> 

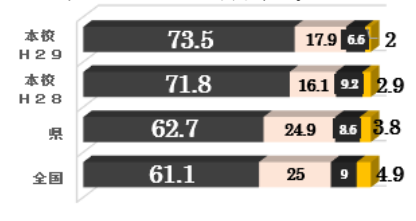
<総括(国語・数学)>

国語の読む力や書く力が身につけていることは、朝読書の充実や図書館指導による継続的指導が成果を上げていると考えられます。また、国語の書く力は、授業での学習課題の設定から、振り返りの時間の確保により、自分の考えをまとめる習慣が身につけてきていると考えられます。また、総合的な学習の時間も効果を上げる一つになっていると考えられます。その一方、国語や数学で、話す・聞く能力に課題が出ています。次期学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業改善を国語科や数学科だけでなく各教科や道徳でもさらに取組みを強化して行きます。

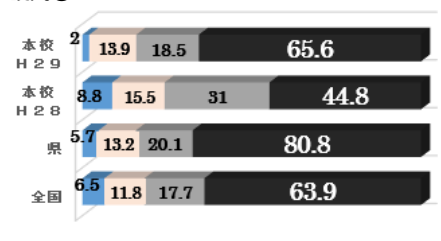
○本校生徒の質問紙調査の分析と考察 ※グラフは左から以下の通り

【1あてはまる 2どちらかと言えば当てはまる 3どちらかと言えば当てはまらない 4当てはまらない】

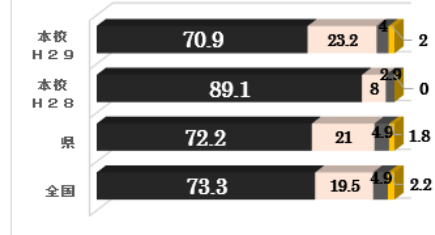
設問①学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



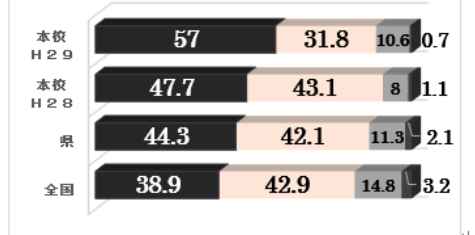
設問②新聞を読んでいますか



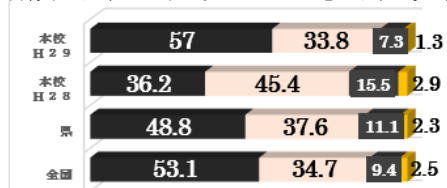
設問③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



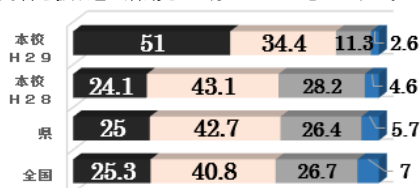
設問④1, 2年生のときに受けた授業は、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



設問⑤1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて、ねらい)が示されていたと思いますか。



設問⑥1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



<総括(生徒質問紙)>

設問①では、1, 2ともに数値が上がっている。引き続き、自己有用感や達成感を育てる取組を実施していきます。

設問②では、学校でも新聞をクラスごと配布しているが、生徒が新聞を読む習慣ができていないことがわかります。社会の情勢や身近な事象について興味関心を持てる環境づくりを行っていきます。

設問③では、前年度は、「しじめはあってはいけない」と思う生徒が「当てはまらない」が0%でしたが、今回は、2%となりました。日々の学校生活でしじめ防止を訴えていきます。

設問④⑤⑥は、今年度大きく改善されました。今後もわかりやすい授業づくりに努めていきます。

10月の主な行事

- 3日(火) 尿検査(1次)
- 6日(金) 青雲祭文化の部
- 13日(金) 中間テスト
- 17日(火) 尿検査(2次)
- 18日(水) 市音楽発表会
- 19日(木) 後期生徒会役員選挙
- 23日(月) 学年専門委員会

【スクールカウンセラー勤務日】

10/2(月)、13(金)、20(金)、27(金)
 様子が違う、困った、話してみよう等相談希望の問い合わせについては教頭又は村田へ

- 24日(火) チャレンジ数学 中央委員会
- 25日(水) 3年生公立高校進路説明会
- 27日(金) 読み語り
- 30日(月) 朝礼

編集後記

青雲祭体育の部にご来場いただいた多くの方が、葦中生の爽やかでひたむきな姿をご覧になり、胸にこみ上げてくるものを感じられたのではないのでしょうか？開催までの2週間の準備期間の舞台裏を少しだけ紹介させていただきます。

右の写真は、朝7時前のグラウンドの様子です。体育の部の朝練があるこの期間は、練習を支えるために、こんな時間から作業をしました。

右下の写真は前日夜の様子です。伝統種目『俵差し』の俵は、競技の特性上傷みがひどく、毎年修理が必要です。今年も生徒のために…と。朝早くから、生徒下校後の夜遅くまで、大変な労力をかけて準備に努めました。

保護者の皆様にも、家での送り出しや洗濯等々、多くの負担をおかけしたと思います。ご支援ありがとうございました。そして今後の活動へのご理解・ご協力も引き続きよろしく願いいたします。



『明日に希望を持ち、今日を頑張る葦中生』へ向け、学校外や地域での特筆すべきあらわれ等がありましたら教頭までご連絡下さい。「葦中生のために」ともに連携を深めていきたいと思ひます。